

# 令和4年度 園芸施設・産地現地研修会のご案内

開催日 令和4年12月1日(木) PM  
開催場所 高知県本山町・南国市  
主催 一般社団法人日本施設園芸協会

## 目的

「施設園芸新技術セミナーin高知」が11/30～12/1に 高知ちばさんセンター(高知市)で開催されます。それに合わせ、高知県内で活躍する優良経営生産法人を視察する研修会を企画しました。

昨年5月に農水省「みどりの食料システム戦略」の公表、この4月に「プラスチック資源循環促進法」施行、7月には「みどりの食料システム法」が施行され、持続可能な食料生産に向けた目標値、カーボンニュートラル等環境負荷軽減に向けた目標値が目標年度とともに設定されました。2050年までに農林水産業のCO2ゼロエミッション化、化石燃料を使用しない園芸施設への完全移行が求められています。そうした目標に向かって、どんな取組み、活動、準備が必要なのか、ヒントになるのか、先進的経営生産法人を訪問し、情報交換を通して、リサーチしていきたいと考えます。

本研修会は、生産者、指導者、研究者、農業団体、資材製造・販売企業、農産物販売企業等の皆様方に、経営改善や環境負荷軽減に向けた課題解決とともに、最新の施設園芸に関する情報交換や新技術等の紹介を通して、施設園芸の発展にお役立ていただくことを目的に開催しています。

○ 出発: JR高知駅12時30分or高知ちばさんセンター13時 出発時刻までに集合

◇ エフビットファームこうち株式会社(本山町) 70分

高知県本山町で展開する総面積21,570㎡のバイオマス発電所と次世代型園芸施設を組み合わせた地域密着型の農業クラスター事業です。隣接する2,000kW級のバイオマス発電所の排熱や排ガスを再利用する次世代型園芸施設は、日本初の取り組みです。バイオマス発電所では、約4,000世帯が年間に消費する電力相当を再生可能エネルギーとして発電することができ、本施設では高知県最大の年間240tのパプリカ生産を目指しています。

◇ 株式会社下村青果商会(南国市) 70分

南国市できゅうり栽培、平成30年に法人化。環境制御技術等、最新の技術を積極的に導入し、園芸ハウスは1.12haの面積まで規模拡大しました。販路も独自で開拓し、儲かる農業を実践しています。軒高2.5メートルの施設で、10aあたり35tという収量の高さが特徴。光合成をいかに高めるかが重要と考え、梨地フィルムや白マルチの活用、CO2発生装置など創意と工夫ある経営を実践しています。

○ 解散: 高知ちばさんセンターorJR高知駅or高知空港 17:30過ぎ

募集人数: 50名(申込期限は11月11日(金)、先着順締切、大型貸切バス2台2班編成)

参加費: (一社)日本施設園芸協会 会員	8,000円
(予定): 野菜流通カット協議会・青果物選果予冷施設協議会会員	10,000円
: 一般(非会員)	12,000円

コロナ感染対策を別紙のとおり実施します。昼食を済ませて集合ください。参加申込みは、別紙参加申込書を(一社)日本施設園芸協会あてFAXまたはe-mailでお送りください。その後、参加受付書を送りますので、参加費を当協会に指定口座にお振り込み下さい。

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本施設園芸協会  
TEL: 03-3667-1631 FAX: 03-3667-1632 e-mail: sanchikenshu@ml.jgha.com